

フクシマガリレイ株式会社

証券コード：6420

**FINE!**

**Fresh Information & Next Efforts**

株主・投資家の皆さまへ

第72期中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

**GALILEI**

Be cool, Be alive.

## 新社長から

## 株主・投資家の皆様へのご挨拶

フクシマガリレイ株式会社では、2022年6月27日付けで代表取締役社長・福島 裕の後任として、新たに福島 豪が代表取締役に就任しました。  
新社長より、株主・投資家の皆様へご挨拶をさせていただきます。

代表取締役 社長執行役員 COO

福島 豪



### 食といのちの未来を拓く挑戦者

この度、新たにフクシマガリレイ株式会社の代表取締役に就任いたしました福島 豪です。日頃より多大なるお引き立てを賜っております株主・投資家の皆様に、改めてご挨拶をさせていただきたく存じます。

めまぐるしい社会情勢の変化に伴い、私たちにも日々新たなミッションが課せられております。新型コロナウイルスの影響で「食」に関する環境も一変し、新たなニーズにお応えするための商品開発にも注力するなど、生活者・お客様の幸せを追究し続けています。

その原動力となっているのが、フクシマガリレイが大切にしている「固定観念にとらわれずに発想し、信念をもって最後までやり抜く」という想いです。これまで培った冷凍・冷蔵技術をベースに、食の流通をトータルで司る「コールドチェーン」(低温流通体系)の構築や、急速凍結冷却技術による賞味期限の延長やフードロス削減、健康・寿命への取り組み、医療理化学分野におけるメディカル事業、そして環境ビジョン「Dramatic Future 2050」に基づく温室効果ガスの排出量実質ゼロへの挑戦など、幅広い社会的課題に対してチャレンジしてゆきます。

「食といのちの未来を拓く挑戦者」は私たちのありたい姿です。“食”のみならず、環境・医療・健康などの“いのち”を新たなビジネスフィールドとして、ステークホルダーの皆様方のご理解とご支援に心より感謝の想いを抱きながら、ご期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

[企業理念]

**環境・安全・安心をテーマに  
「幸せ創造企業」を目指します。**

#### 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマにお客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

#### 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

#### 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

#### 第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

## 今期の業績について



当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の第7波が到来したものの、まん延防止等重点措置等の行動制限はとられず、社会経済活動の両立が図られる中、緩やかに持ち直しの動きが見られます。一方で、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格高騰および供給面での制約に加え、円安の進行や金融資本市場の変動による下振れリスク等、引き続き先行き不透明な状況にあります。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、7月後半から8月にかけて新型コロナウイルス感染症拡大の第7波により客足は鈍化したものの、行動制限および酒類の提供の制限のあった前年同期との比較では回復傾向が続いています。流通産業では、行動制限の解除や食料品価格の高騰等の要因により、内食需要の落ち着きが見られる一方で、光熱費をはじめとするコストの上昇等により、先行き不透明な状況にあります。また、食品製造業界では、原材料価格高騰の影響を受けつつも、大手食品メーカーを中心として設備投資が堅調であり、低温物流拠点の需要も継続しております。

冷凍冷蔵庫販売では、店舗での食品加工やテイクアウトの需要が継続しており、プラスチックや冷凍冷蔵ロッカー等高付加価値製品の売上が増加しました。汎用冷凍冷蔵庫の売上も、飲食店および宿泊施設向けの販売が増加し、売上高は124億6千3百万円(前年同四半期比16.3%増)となりました。

医療・理化学製品販売では、病院・クリニック向けの販売が、前年度の新型コロナウイルス感染症の関連需要の剥落により減少したほか、再生医療関係の売上が減少したことにより、売上高は6億5千1百万円(前年同四半期比53.3%減)となりました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、コンビニエンスストア向けの自然冷媒を採用したショーケースの販売は引き続き堅調だったものの、ドラッグストア向けの販売が減少し、売上高は170億9千6百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。

大型食品加工機械販売では、トンネルフリーザーにおいては、大手食品メーカーを中心に設備投資が継続しており、売上が堅調に推移しました。食品加工工場内の生産ラインや物流・搬送ラインの自動化・省力化を進めるラインシステムやコンベヤの売上も冷凍弁当や麺ライン等の大型案件が増加し、売上高は32億4千1百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

大型パネル冷蔵設備販売では、食品工場やEC拡大を背景にした物流拠点、プロセスセンターへの設備投資が活発であり、売上高は63億1千3百万円(前年同四半期比18.5%増)となりました。

小型パネル冷蔵設備販売では、スーパーマーケット向けの売上が減少したことなどにより、売上高は28億9千6百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

サービス販売では、トンネルフリーザーのメンテナンス売上は減少したものの、スーパーマーケットやコンビニ、ドラッグストア向けのメンテナンス、保守契約ともに売上が増加し、業務用冷凍冷蔵庫のメンテナンスの需要も回復基調となり、売上高は58億5百万円(前年同四半期比0.8%増)となりました。

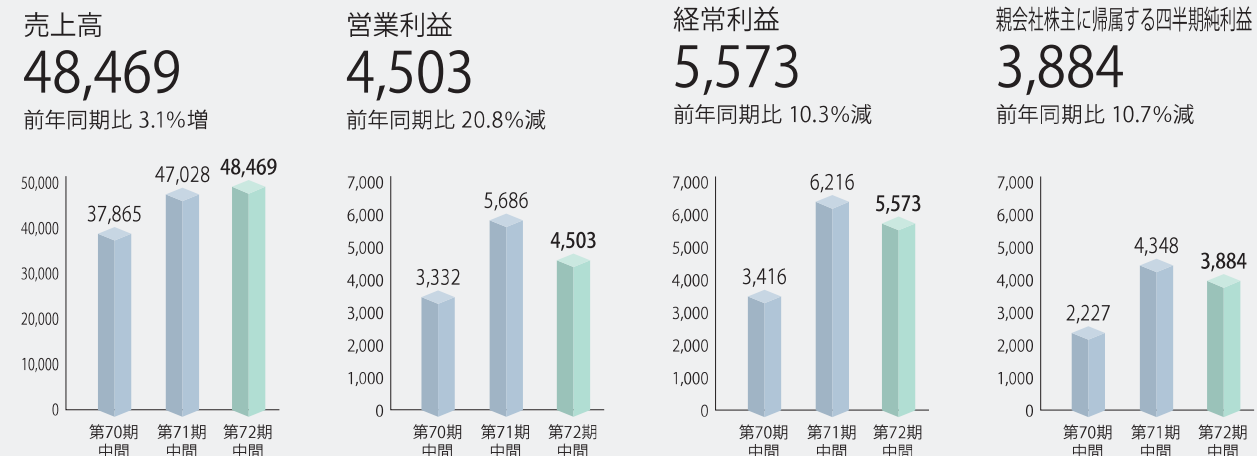
製造部門においては、原材料価格高騰の影響により製造原価が膨らんでおりますが、影響を軽減すべく生産効率の向上に取り組んでまいります。また、夏季の受注増と、出荷情報のデータ管理に問題が生じたことにより、7月中旬から岡山工場製品にて大幅な納期遅延が発生していましたが、安定供給に向けて全社を挙げて出荷体制の見直し等に取り組み、10月に納期遅延を解消し受注制限を解除しております。

ガリレイグループでは、サステイナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、2050年までに食品の生産からテーブルに並ぶまで温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることに挑戦しております。また、「グリーン冷媒への転換」「環境性能の高い製品を開発・提供」「冷媒ガス漏洩防止」のアクションを戦略的に推進し、バリューチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組むことで、環境先進企業として価値を提供してまいります。冷凍機内蔵型多段オープンショーケース、冷凍機内蔵型アイランドショーケースのモデルチェンジを実施し、冷凍機別置型ショーケース「CLAIR Send-you」シリーズと意匠デザインを統一するとともに、地球温暖化係数の低い冷媒に切り替えております。

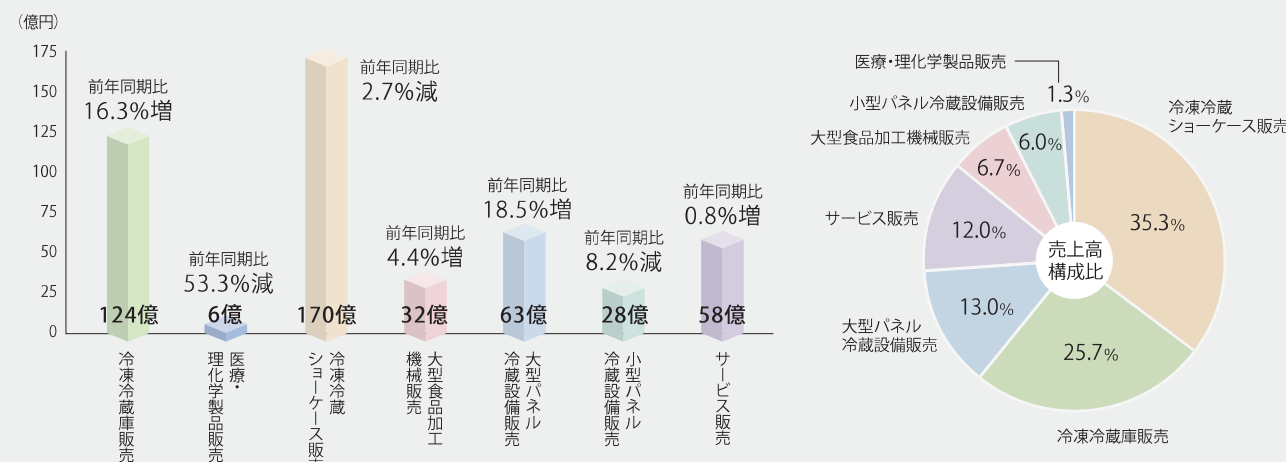
その結果、当四半期連結累計期間の売上高は484億6千9百万円(前年同四半期比3.1%増)となりましたが、原材料価格高騰の影響により、営業利益は45億3百万円(前年同四半期比20.8%減)、経常利益は55億7千3百万円(前年同四半期比10.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億8千4百万円(前年同四半期比10.7%減)となりました。

## 財務ハイライト

第72期中間連結決算 (単位:百万円)



## 事業別売上高



## 導入事例紹介

最新の導入事例をご紹介します。

case  
01

ドラッグストアチェーン・株式会社クスリのアオキ様

### 生鮮食品部門強化の戦略を推進中。 ショーケース、プレハブ冷凍庫・冷蔵庫を納入し店舗数拡大に貢献。

本社のある石川県を中心に、中部・関東・近畿地方へ店舗を展開中のドラッグストアチェーン・クスリのアオキ様。さらなる店舗拡大のために生鮮食品部門を強化中で、これまでの冷凍ケースからリーチインケースへの切替を当社1号店(三口新町三丁目店)より実現いただきました。今期は6店舗オープン済み(10月末時点)、今後も多くの案件をらせていただいています。



生鮮食品売場を含む店舗を次々に出店中のクスリのアオキ様



当社ショーケースが並ぶ店内風景

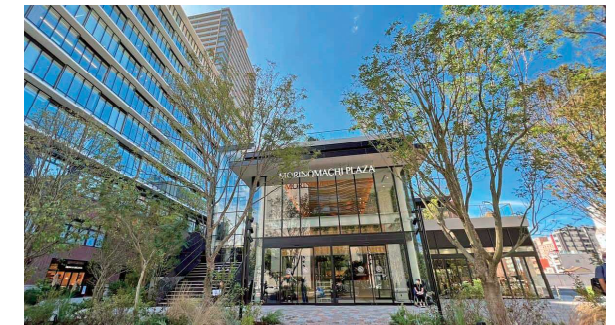
今後はさらなる信頼関係の構築を目指して、「さらなる省エネのお手伝い」と「快適な売場環境」のポイントから改善を進めていきます。食品スーパーで培った多彩な技術で、より良い生鮮食品の売場づくりに貢献してまいります。

case  
02

運輸・エネルギー・都市開発などの総合インフラ企業  
両備ホールディングス株式会社様

### 新装オープンの複合施設「杜の街グレース」内の スーパーマーケット・フードホールに ショーケース、厨房機器、プレハブ冷凍庫・冷蔵庫を納入。

2022年9月、岡山県岡山市にグランドオープンした「杜の街グレース」は、商業棟・オフィス棟・住宅棟が集う複合施設。その開発を推進する両備ホールディングス様から、スーパーマーケットのショーケース・フードホールの厨房機器、プレハブ冷凍庫・冷蔵庫をご発注いただきました。



豊かな自然とくらしが調和する「杜の街グレース」



フードホールには  
厨房機器を納入



ショーケースの  
デザインにもこだわり  
洗練された空間を演出

スーパーマーケットでは、おしゃれな雰囲気店舗内装に調和するよう、ショーケースの色や艶などを両備ホールディングスのクリエイティブサポート部と連携しながら仕様を決定。棚枚数も増やして陳列数を増やしております。ショーケースは全て黒塗装になっており、結露対策として、デシカント一体型リーチインショーケースを提案したことも高く評価されました。今回の納入事例をきっかけに、今後もご期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

case  
03

病院・介護施設などの食事を手がける  
日清医療食品株式会社様



国内最大級のセントラルキッチン・  
ヘルスケアフードファクトリー関東にガリレイグループの力を結集。  
ブラストチラー・電解次亜水生成装置などの機材を納入。



ブラストチラー

主に病院や介護施設、保育施設向けの食事を提供している日清医療食品株式会社様。その大規模な製造拠点となるセントラルキッチン「ヘルスケアフードファクトリー関東」に、ブラストチラー・電解次亜水生成装置・トンネルフリーザー®などの設備を納入しました。生産量の目標である「1日10万食」を実現させるため、設備のみならず生産ラインの構成から提案。課題に向け根本的な解決策を提示したことが受注につながりました。

ブラストチラーは小ロット室に12台・調味料作業台に2台納入。自動洗浄機能や、パワーサプライ絶縁不良や蒸発器のビス外れなどのトラブルにあらかじめ対応するなどの仕様を提案しました。タカハシガリレイはトンネルフリーザー®12基、ショウケンガリレイはその前後搬送用コンベアなど、ガリレイパネルクリエイトは断熱パネル、耐火パネルなども受注し、ガリレイグループの力を結集することで大規模なプロジェクトを完結させることができました。



各所に配管された殺菌用の電解次亜水



トンネルフリーザー®

「FOOMA JAPAN 2022 国際食品工業展」  
「フードストアソリューションズフェア2022」に出展

FOOMA JAPAN2022 国際食品工業展

2022年6月7日(火)～10日(金) 東京ビッグサイト

「冷やすを見る・触る・分かる 知覚を刺激するガリレイブース」をテーマに、凍結方法の違いやその様子、機器の特徴などを体験していただけるブースを展開しました。

最大-40℃の冷風で急速冷却、急速凍結する『ブラストチラー/ショックフリーザー』やアルコールを使用して急速に凍結するアルコール急速凍結装置『L-SHOCK®』を実際に運転し、凍結の様子をご覧いただきました。また、トンネルフリーザー®(タカハシガリレイ)とコンベアライン(ショウケンガリレイ)を繋げて展示し、急速凍結から箱詰め作業までを自動で行う工程を展示。他にも、レイアウトの自由度が高い内装用ライン照明付き天井パネル(ガリレイパネルクリエイト)やHACCP・衛生管理関連のシステム・機器を紹介し、連日ブースは大勢のお客様で賑わいました。



フードストアソリューションズフェア 2022

2022年9月7日(水)～8日(木) インテックス大阪4号館・5号館

テイクアウトやEC需要に対応する製品を中心に展示を行いました。常温・冷蔵商品のクロスマーチャライジングに活用できるコンパクトインショーケースや、庫内の様子が見えるスライド扉ショーケース・受取用ロッカー、スマート診断により故障を未然に防ぐホストコントローラーAUROやHACCP温度管理システムなど、外食産業のニーズに応じた製品が関心呼びました。



## 冷凍機内蔵型冷凍冷蔵ショーケースAMX/Cシリーズが 「2022年度グッドデザイン賞」を受賞



冷凍機内蔵型冷凍冷蔵ショーケース [AMX/Cシリーズ]が、2022年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

空間に溶け込むシンプルな外観設計だけでなく、素材の見直し、清掃性の向上、パーツの簡略化など、デザイン以外の面も高く評価されました。

## メンテナンスの人材育成の場・ 「ガリレイアカデミー」開校

メンテナンス関連の人材力強化と早期活躍支援のため、若年層のエンジニアを対象に基礎知識や修理・施工技術が学べる「ガリレイアカデミー」を開校しました。第1期はサービス部門に配属された新入社員の12名が受講。カリキュラムは3ヶ月間におよび、幅広い知識と経験が身につく機会を提供することができました。座学では製品や施工管理、システムや衛生に関する基礎知識に加え社会人としてのビジネスマナーも学習。業務用冷蔵庫やショーケースなど実際の機器を使つての研修では、構造・操作方法・メンテナンス・トラブルシューティング・エラー内容の確認方法などを学び、数人で故障箇所や診断方法を議論するグループワークも交えながら知識を深めていきました。今後は人手不足や人材教育にお悩みの企業様のお役に立てるよう、定期的の開講する予定です。



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	73,137	74,999
固定資産	30,562	31,195
有形固定資産	17,330	17,723
無形固定資産	497	622
投資その他の資産	12,735	12,850
<b>資産合計</b>	<b>103,700</b>	<b>106,195</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	29,958	29,935
固定負債	1,831	1,615
<b>負債合計</b>	<b>31,789</b>	<b>31,551</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	67,619	70,357
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	3,168	3,222
利益剰余金	64,905	67,547
自己株式	△3,215	△3,172
その他の包括利益累計額	4,235	4,220
その他有価証券評価差額金	4,218	4,063
為替換算調整勘定	△19	139
退職給付に係る調整累計額	36	18
非支配株主持分	56	65
<b>純資産合計</b>	<b>71,910</b>	<b>74,643</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>103,700</b>	<b>106,195</b>

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	47,028	48,469
売上原価	34,256	36,273
売上総利益	12,772	12,196
販売費及び一般管理費	7,086	7,693
営業利益	5,686	4,503
営業外収益	590	1,157
営業外費用	60	87
経常利益	6,216	5,573
税金等調整前四半期純利益	6,073	5,573
法人税、住民税及び事業税	1,904	1,833
法人税等調整額	△185	△145
法人税等合計	1,719	1,687
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,348	3,884

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,016	1,064
投資活動による キャッシュ・フロー	△618	△1,303
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,060	△1,237
現金及び 現金同等物に係る換算差額	△49	421
現金及び 現金同等物の増減額 (△は減少)	4,287	△1,053
現金及び 現金同等物の期首残高	39,575	43,954
現金及び 現金同等物の四半期末残高	43,863	42,900

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# Information

## 会社概要

商号	フクシマガリレイ株式会社
本社	〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2丁目6-18
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結：2,320名 単体：1,800名（準社員含む） 2022年3月現在

## 事業所一覧

主要拠点	本社・関西支店（大阪）、東日本支社（東京浅草橋・東京日本橋） 中部支社（名古屋）、西日本支社（福岡）
支店 営業所 サービスセンター	北海道（札幌）、旭川、函館、帯広、釧路、北東北（盛岡）、水沢、 青森、秋田、南東北（仙台）、郡山、山形、千葉、柏、北関東 （宇都宮）、水戸、つくば、高崎、さいたま、南東京、北東京、 西東京、甲府、横浜、厚木、信越（新潟）、長岡、長野、松本、静岡、 沼津、浜松、豊橋、岐阜、三重、富山、金沢、福井、京都、福知山、 滋賀、南大阪、奈良、和歌山、神戸、西宮、姫路、岡山、鳥取、 広島、福山、松江、山口、四国（高松）、徳島、高知、松山、北 九州、久留米、佐賀、東九州（宮崎）、大分、都城、西九州 （長崎）、佐世保、南九州（熊本）、鹿児島、沖縄、石垣、宮古島
サービスセンター	関東（船橋）、関西（大阪）
工場	滋賀（水口）、岡山

## グループ会社一覧

タカハシガリレイ株式会社、ガリレイパネルクリエイト株式会社  
ショウケンガリレイ株式会社、フクシマトレーディング株式会社  
福島国際（香港）有限公司、ガリレイ（タイランド）株式会社  
フクシマガリレイシンガポール株式会社、台湾福島国際股份有限公司  
フクシマガリレイマレーシア株式会社、福久島貿易（上海）有限公司  
フクシマガリレイベトナム有限公司、フクシマガリレイタイランド株式会社  
フクシマガリレイフィリピン株式会社、フクシマガリレイインドネシア株式会社  
フクシマガリレイミャンマー株式会社、フクシマガリレイカンボジア株式会社

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。

フクシマガリレイのホームページを、ぜひご覧ください！

[www.galilei.co.jp](http://www.galilei.co.jp)

# GALILEI

Be cool, Be alive.

## 役員

代表取締役会長 CEO 福島 裕	取締役上級執行役員 日野 達雄
代表取締役社長執行役員 COO 福島 豪	社外取締役（常勤監査等委員） 竹内 博史
取締役副会長執行役員 福島 亮	取締役（常勤監査等委員） 堀之内 健士
取締役常務執行役員 片山 充	社外取締役（監査等委員） 藤川 隆夫
取締役常務執行役員 長尾 健二	社外取締役（監査等委員） 吉年 慶一
取締役上級執行役員 水谷 浩三	社外取締役（監査等委員） 梨岡 英理子

## 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html">https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人 および 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 （郵便物送付先） （電話照会先）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）



(2022.11) F